

競技注意事項

1. 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会要領により実施する。

2. 競技場使用について注意

- (1) 陸上競技場(競技場フェンス内)への入場にはIDカードを提示しなければならない。
IDカードは、陸上競技場外の受付にて体調管理チェックシートを提出後、1人1枚配付する。
(※チーム・学校の代表者がまとめて提出する)
選手の入退場口は、メインスタンド東側(B)と西側(C)、及び競技場西側スロープ入口ゲート(E)のみとする。また観客の入退場口は、メインスタンド東側(A)及び西側(D)とする。
- (2) 観客の入場は500人を上限とする。入場できる方は、当協会が定めた感染予防対策マニュアルを遵守し、受付にて必要事項を記入した「競技場入場申請書」の提出及び検温確認を行う。
- (3) 女子の更衣は管理棟内更衣室を利用し、貴重品は各自で責任をもって管理すること。
利用は短時間とし、利用人数制限を守ること。男子更衣室は準備しない。またシャワーは使用できない。
- (4) 練習は補助グラウンドを使用すること。
- (5) 競走競技においてフィニッシュした後は、第2・第3・第4コーナーをまわってスタート地点に戻るか、メインスタンド東側の階段を上り、メインスタンド外側通路を使用すること。
(※大会本部のある正面スタンド前は通行しないこと)
- (6) メインスタンドには、テント、部旗、幟、横断幕などは設置できない。
競技中以外は前後左右最低1m、できれば2m以上の距離を常にとること。

3. 競技者招集及びリレーのオーダー提出について

- (1) 1次招集の場所は、補助グラウンド倉庫前付近とする。
- (2) 招集時間は下記のとおりとする。

トラック	1次招集	競技開始時刻	50分前に開始、30分前に完了
	2次招集	スタート地点にて競技開始	10分前に完了

フィールド	1次招集	競技開始時刻	1時間10分前開始、50分前に完了
	2次招集	競技場所にて競技開始	30分前に完了

- (3) 招集方法は次のとおり。
 - ① 1次招集 補助グラウンド倉庫前付近にて行う。招集場にて提示されたリストの自分の番号を指さし、招集所係員が○をつける。その際、靴底の厚さ及びスパイクピンを確認する。またトラック競技は(リレーは最終走者のみ)「腰ナンバー標識(シール式)」をとり、各自で競技場所へ移動する。
アスリートビブスの点検は現地で受けるのでまずは自分で確認しておく。
 - ② 代理人による2次招集は認めない。2種目(個人種目とリレー)を同時に出場する競技者は、予めその旨を本人、又は代理人が競技者係に申告し許可を受けること。
 - ③ 欠場者は、競技者係に1次招集完了10分前までに欠場届を提出すること。代理人による提出も認める。欠場届は招集所で受け取ること。
 - ④ 2次招集完了時刻に競技場内にいない競技者は当該種目の参加から除外されDNSと記録される。
- (4) リレーのオーダー提出について
 - ① 提出締切は、**1次招集完了の60分前**に完了とする。
 - ② オーダー用紙は、当日、招集所で配付する。

4. 用器具について

- (1) ジャベリックボールは主催者が準備したものを使用する。

5. 競技について

全 般

- (1) トラック競技及びフィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
- (2) トラックとフィールドにまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨申し出てトラック競技を優先して出場することを原則とする。
- (3) アスリートビブスは胸背部につける。但し、跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでもよい。

トラック競技

- (4) トラック競技に出場する競技者は、配付された「腰ナンバーカード」を右腰やや後方に貼り付けること。
- (5) リレーに出場するチームは、上衣は同一ユニフォーム、下衣は同色で参加しなければならない。
- (6) スタートについては、下記のとおりとする。
 - ・スタートの合図は、イングリッシュコールで行う。
 (「On your marks (位置についての意)」「Set (用意の意)」「パン (ピストル音)」とする)
 - ・スタート方法はクラウチングスタートとする。ただし3年生以下は、スタンディングスタートも認める。
 - ・スターティングブロックは使用しない。
 - ・スタート時に、同じ選手が2回不正スタート(フライング)をした場合は失格とする。
- (7) セパレートレーンを使用する競走種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

- (8) 80mHの設定

スタートから第1ハードルまで	インターバル	最終ハードルからフィニッシュ	高さ	台数
13m	7m	11m	0.7m	9台

- (9) リレー競走で使用するマーカー(5cm×40cm以内の粘着テープ)は出場チームで準備すること。使用したマーカーはレース後に当該チームにおいて必ず取り除くこと。

フィールド競技

- (10) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の手配に従う。
 投てき種目の練習会場は、競技開始予定時刻30分前から競技場内投てきピットを開放する。
- (11) フィールド種目の試技は全員3回行い、ベスト8位によってさらに3回の試技を行う。
- (12) 走高跳は、背面跳及びベリーロールは禁止する。
 (マットへの着地は足の裏からとし、背、腰等からの着地は無効試技とする。)
- (13) 走高跳のバーの最初の高さは(出場者の記録を考慮し)、競技開始前に告知する。
 また、バーの上げ方も、2cm以上で(出場者の記録を考慮し)、競技開始前に告知する。
- (14) ジャベリックボール投のピットは、やり投ピットを使用し、助走は15m以内とする。

シューズについて

- (15) スパイクは使用してもよい。
 スパイクピンの長さは、トラック種目、走幅跳、ジャベリックボール投は9mm以内、
 走高跳は12mm以内の平行ピンを使用すること。
 ※全天候型トラックでも使用できるとされている鋭利なピン付きスパイクは使用できない。
 ※素足での競技は禁止する。
- (16) 靴底の厚さは、以下の通りとする。(規定外であることをレース前に確認した場合は出場を認めない)

○ トラック種目

800m未満	20mm以内
--------	--------

○ フィールド種目

跳躍種目	20mm以内
投擲種目	20mm以内

6. 記録の発表について

- (1) 記録の掲示は行わず、WEB上にて発表する。プログラム表紙、IDカード及び園内各所に掲示するQRコードによりURLを取得できる。

7. その他

- (1) 競技中の障害・疾病については応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。
(傷害保険の範囲内にて対応とする)
- (2) 競技場周辺の清掃に留意し、ゴミは各自で全て持ち帰ること。
- (3) 主催者は、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
- (4) 競技場の用器具、機器等を破損等した場合は、大会総務に必ず申し出ること。(保険対象となる場合有り)